

問1 室町時代に足利義満が明（みん）と始めた貿易において、正式な貿易船であることを証明するために「勘合」という合い札が用いられた理由として、最も適切な説明を選びなさい。（2018年 佐賀公立入試 類似）

- 沿岸部で略奪行為を行っていた倭寇と、正式な貿易船を区別するため
- 東南アジア方面へ渡航する日本船に、幕府が独占的な許可を与えるため
- 輸入品である銅銭の流通量を制限し、国内の物価を安定させるため
- 朝鮮半島での通商権をめぐり、宗氏が対馬での検問を行うため

問2 足利義満が行った日明貿易（勘合貿易）の仕組みと、当時の経済状況について述べた文として、最も適切なものはどれですか。（2019年 秋田県公立入試 類似）

- 倭寇と正式な貿易船を区別するために勘合という札を用い、輸入された明銭が国内の商業取引で広く流通した。
- 兵庫（大輪田泊）を拠点として宋との貿易を盛んに行い、輸入した宋銭を国内に流通させて貨幣経済の基礎を築いた。
- 大陸との公的な交流を絶ち、国内独自の貨幣を鑄造することで、対外貿易に頼らない自給自足の経済体制を確立した。
- 全国を統一した後に独自の金貨や銀貨を大量に鑄造し、明から輸入されていた銅銭の流通を全面的に禁止した。

問3 13世紀後半に発生した元寇（モンゴル帝国の侵攻）が、その後の鎌倉幕府の衰退につながった理由として、最も適切な説明はどれですか。（2024年 鳥取公立入試 類似）

- 防衛戦であったため恩賞として与える土地が不足し、御家人の不満が高まったため
- 元と結んだ南京条約により、幕府の外交権が剥奪されたため
- 遣唐使の派遣を継続するために、農民に重い税を課しすぎて一揆が起きたため
- 日明貿易の主導権を巡って、足利氏と北条氏が激しく対立したため

問4 室町幕府の最高職である管領に交代で任命され、幕府を支えた「三管領」と呼ばれる三つの家系の組み合わせとして正しいものはどれですか。（2024年 山梨公立入試 類似）

- 細川氏・斯波氏・畠山氏
- 山名氏・赤松氏・一色氏
- 北条氏・足利氏・徳川氏
- 藤原氏・平氏・源氏

問5 室町時代の14世紀から15世紀にかけて、農民たちが自立性を強め、自衛や灌漑用水の管理を行うために結成した自治的な村の組織を何といいますか。（2018年 福岡県公立入試 類似）

- 惣（惣村）
- 座
- 蔵屋敷
- 口分田

問6 室町幕府の3代将軍である足利義満が行った政策のうち、当時の国際情勢や幕府の経済基盤の確立に関連する出来事として最も適切なものはどれですか。（2023年 歴史公立入試 類似）

- 明の皇帝から日本国王の称号を得て、勘合を用いて倭寇と区別した貿易を開始した
- 博多や堺の商人を通じて宋から大量の銅銭を輸入し、国内の貨幣経済を促進させた
- ポルトガル船の来航を許可し、キリスト教の布教を認めることで鉄砲を導入した
- 朝鮮半島に出兵して勢力を拡大しようとしたが、現地軍や明の援軍に阻まれ撤退した

問7 中世の北陸地方に位置する加賀国（現在の石川県）では、浄土真宗の信仰で結びついた農民や地侍らが団結し、守護大名を倒して約100年にわたる自治を実現しました。この出来事を何と呼びますか。（2018年 長野県公立入試 類似）

- 一向一揆
- 土一揆
- 国一揆
- 高原・天草一揆

問8 室町幕府の組織図において、将軍の下に置かれた「管領」と、地方に置かれた「鎌倉府」を比較したとき、鎌倉府の役割や性質について説明した文として正しいものを選びなさい。（2018年 千葉県公立入試 類似）

- 足利氏の一族が長官を務め、関東地方の軍事や行政を独自に統括した。
- 将軍の補佐役として、幕府の政治全体を統括する最高責任者であった。
- 承久の乱ののち、朝廷の動きを監視するために設置された軍事拠点であった。
- 元寇に備えるために、九州地方の沿岸警備を目的として設置された。

問9 室町時代の農業について述べた文として、当時の食料生産の実態を正しく表しているものはどれか。（2022年 岐阜公立入試 類似）

- 同じ田で夏に米を、冬に麦を育てる二毛作が広がり、人々の食生活を支えた。
- 灌漑施設の整備が進んだことで、一年のうち同じ田で米を2回作る二期作が全国で一般化した。
- 商品作物の栽培が中心となり、米や麦の代わりに茶や桑のみを専門に育てる農家が急増した。
- 大陸から伝わったサツマイモが凶作に備える救荒作物として全国の田畑で栽培された。

答え合わせ・解説

問1	答え 1 沿岸部で略奪行為を行っていた倭寇と、 正式な貿易船を区別するため	14世紀後半、東アジアの沿岸地域では「倭寇」と呼ばれる海賊集団が略奪活動を活発化させていました。明の皇帝は日本に対して倭寇の取り締まりを強く求めたため、足利義満はこれに応じて倭寇を鎮圧するとともに、正式な貿易船には明から交付された「勘合」という合札を持参させました。これにより、海賊と幕府公認の貿易船を厳格に区別する仕組みが整いました。なお、「朱印状」を用いて渡航許可を与えたのは後の時代の御朱印船貿易です。
問2	答え 1 倭寇と正式な貿易船を区別するために勘 合という札を用い、輸入された明銭が国 内の商業取引で広く流通した。	足利義満は、明からの要求であった倭寇（海賊）の取り締まりを徹底するため、勘合（かんごう）と呼ばれる合札を使用して正式な貿易船を証明する仕組みを整えました。この貿易により、日本からは銀や刀剣などが輸出され、明からは生糸や書画に加え、大量の銅銭が輸入されました。これらの輸入銭は、中世日本の市場において決済手段として欠かせないものとなり、年貢の代銭納化などの経済的変化をもたらしました。
問3	答え 1 防衛戦であったため恩賞として与える土 地が不足し、御家人の不満が高まったた め	元寇は外国からの侵略を退ける防衛戦であったため、幕府は新たに獲得した土地がありませんでした。そのため、多大な軍費を負担して戦った御家人たちに十分な恩賞（土地）を与えることができず、彼らの生活が困窮して幕府への信頼が失われていきました。
問4	答え 1 細川氏・斯波氏・畠山氏	管領は足利一門の中でも特に権威のある細川・斯波・畠山の三氏から選ばれる慣習があり、これを「三管領」と呼びます。選択肢にある山名氏や赤松氏などは、侍所の長官である所司（しよし）に任命される家柄で「四職（ししき）」と呼ばれ、管領とは区別されます。
問5	答え 1 惣（惣村）	室町時代、農民たちは「寄り合い」と呼ばれる会議を開いて村独自のルール（村の掟）を定め、自分たちで村を運営するようになりました。このような自治組織を「惣（惣村）」と呼びます。選択肢にある「座」は商工業者の同業者組合、「蔵屋敷」は江戸時代に諸藩が年貢米などを売るために設けた施設、「口分田」は古代の律令制下で農民に割り当てられた土地を指します。
問6	答え 1 明の皇帝から日本国王の称号を得て、勘 合を用いて倭寇と区別した貿易を開始し た	足利義満は南北朝の合一を果たして国内を安定させた後、明と国交を結び日明貿易（勘合貿易）を始めました。この貿易では「勘合」という合札を用いることで、正式な貿易船と海賊である倭寇を厳格に区別し、幕府に大きな利益をもたらしました。
問7	答え 1 一向一揆	浄土真宗（一向宗）の門徒たちが起こした抵抗運動を「一向一揆」と呼びます。特に加賀の一向一揆は、守護の富樫氏を自害に追い込み、自分たちの手による政治を長期間維持したことで知られています。
問8	答え 1 足利氏の一族が長官を務め、関東地方の 軍事や行政を独自に統括した。	鎌倉府は、室町幕府が関東10か国（後に関東以外も含む）を支配するために設けた広域行政機関です。中央で将軍を支えた「管領」が有力守護大名（細川・斯波・畠山氏）から選ばれたのに対し、鎌倉府のトップである鎌倉公方は足利氏の一族が独占し、独自の軍事指揮権や行政権を行使した点が特徴です。
問9	答え 1 同じ田で夏に米を、冬に麦を育てる二毛 作が広がり、人々の食生活を支えた。	室町時代の農業の大きな特徴は、米の裏作として麦を育てる二毛作が広く普及したことです。これにより土地の利用効率が高まり、生産量が増加しました。サツマイモの普及は江戸時代中期以降の出来事です。

問1 室町時代には商品の流通が盛んになり、各地を結ぶ陸上の交通が発達しました。この時期に、馬を利用して荷物の運搬を専門に行った運送業者のことを何と呼びますか。（2026年 栃木公立入試 類似）

1. 馬借 2. 土倉 3. 問丸 4. 株仲間

問2 室町時代、3代将軍の足利義満が京都の北山に金閣を建立した時期の文化について、その特色を説明したものとして最も適切なものはどれですか。（2021年 熊本県公立入試 類似）

1. 伝統的な公家の文化と新興の武士の文化が融合している。 2. 禅宗の影響を強く受け、わび・さびを重んじる質素で気品のある内容である。 3. 大名や大商人の富を背景とした、壮大で豪華な桃山文化の先駆けとなった。 4. 浮世絵や歌舞伎など、都市の町人が文化の主な担い手となっている。

問3 1334年ごろに京都で掲げられた「二条河原の落書」が批判の対象とした、後醍醐天皇を中心とする政治体制の名称として正しいものはどれですか。（2021年 和歌山公立入試 類似）

1. 建武の新政 2. 院政 3. 守護・地頭の設置 4. 版籍奉還

問4 1428年、近畿地方の農民たちが団結し、酒屋や土倉などを襲って借金の証文を破棄させ、室町幕府に対して借金の帳消しを命じるよう求めた大規模な行動を何といいますか。（2023年 大阪公立入試 類似）

1. 土一揆 2. 打ちこわし 3. 惣村 4. 一向一揆

問5 14世紀から16世紀にかけて、琉球王国は地理的な優位性を活かして繁栄しました。当時の状況を記した資料において、日本や朝鮮から輸入した刀剣や生糸を中国へ送り、逆に中国から輸入した陶磁器や香料を日本や東南アジアへ送るといった、各地の産品を転売して利益を上げる貿易が行われていたことが示されています。このような貿易の形態を何と呼びますか。（2018年 群馬県公立入試 類似）

1. 朱印船貿易 2. 中継貿易 3. 南蛮貿易 4. 勘合貿易

問6 日本の伝統的な「浦島伝説」が記されている古典作品について、奈良時代にまとめられた日本最古の和歌集と、室町時代に成立した絵入りの短編物語の組み合わせとして正しいものはどれですか。（2024年 大阪公立入試 類似）

1. 万葉集と御伽草子 2. 古今和歌集と浮世草子 3. 新古今和歌集と御伽草子 4. 万葉集と浮世草子

問7 室町時代、借金に苦しむ農民らが「土一揆」と呼ばれる集団行動を起こし、幕府に対して借金の帳消しを強く要求しました。当時の石碑には、それ以前の貸し借りを無効にするという趣旨の言葉が刻まれることもありましたが、このように幕府が債権者に対して貸借関係の破棄を命じた法令を何といいますか。（2016年 大阪公立入試 類似）

1. 徳政令 2. 御成敗式目 3. 武家諸法度 4. 公事方御定書

問8 室町時代の農村で形成された自治組織である「惣」が、当時の社会において果たした役割やその背景について述べた文として、最も適切なものはどれですか。（2018年 千葉県公立入試 類似）

1. 有力な農民たちが寄合を開いて村のルールを定め、灌漑用水の管理や年貢の納入を共同で行うなど、自分たちで村を運営した。 2. 商人が中心となって結成され、同業者による独占的な営業権を幕府から認められる代わりに、税を納めて利益を守った。 3. 鎌倉時代から続く武士である御家人が中心となり、軍役を果たす代わりに土地の支配権を将軍に保証させるための組織として機能した。 4. 都市の富裕な商工業者である町衆が中心となり、自治を行うために京都などで結成されたが、農村の秩序維持には関与しなかった。

問9 室町時代、凶作や重い負担に苦しむ近江（現在の滋賀県）などの農民たちは、生活の困窮を背景に団結し、高利貸しを襲撃するなどの行動を起こしました。こうした農民たちが、幕府に対して「借金の帳消し」を認めるよう求めて出した法令の名称として、最も適切なものを選びなさい。（2022年 滋賀公立入試 類似）

1. 徳政令 2. 分国法 3. 御成敗式目 4. 武家諸法度

答え合わせ・解説

問1	答え 1 馬借	室町時代には定期市の回数が増えるなど経済が活性化し、物資を運ぶ必要性が高まりました。馬借は馬を所有して荷物を運ぶ業者で、主に近畿地方の港町や交通の要所に集まり、物流の主役となりました。土倉は質屋を営む金融業者、問丸は港湾での運送や宿泊を担った業者、株仲間江戸時代に結成された商工業者の同業者組織です。
問2	答え 1 伝統的な公家の文化と新興の武士の文化が融合している。	室町時代初期の北山文化は、3代将軍足利義満が朝廷の権威と幕府の力をあわせ持っていた社会背景を反映しています。金閣（鹿苑寺舍利殿）に代表されるように、貴族が好んだ寝殿造と、武士や禅宗に好まれた仏殿建築の様式が組み合わされている点が大きな特徴です。なお、「質素で気品がある」のは東山文化、「壮大で豪華」なのは桃山文化、「町人が担い手」なのは江戸時代の文化の特色です。
問3	答え 1 建武の新政	鎌倉幕府を倒した後の1334年に、後醍醐天皇が公家中心の政治を復活させようとして始めたのが建武の新政です。この政治は武士の期待を裏切る内容が多く、わずか数年で足利尊氏氏によって崩壊することになります。
問4	答え 1 土一揆	室町時代には、農民たちが「惣村」と呼ばれる自治組織を作り、団結を強めていました。1428年には正長の土一揆が起こり、生活に苦しむ農民が実行使によって借金の帳消しを意味する徳政を幕府に要求しました。これに対して幕府が出した命令が徳政令です。江戸時代の都市部で起こった「打ちこわし」とは時代や性質が異なる点に注意が必要です。
問5	答え 2 中継貿易	琉球王国は、自国の産品を輸出するだけでなく、中国、日本、朝鮮、東南アジアの間に位置する地理的条件を最大限に活用しました。各地の特産品を買い入れ、別の地域へ転売することで差額の利益を得るこの仕組みは、当時の東アジアにおける物流の要として機能し、王国の経済的基盤となりました。
問6	答え 1 万葉集と御伽草子	浦島伝説は、奈良時代に編纂されたわが国現存最古の歌集である「万葉集」において、高橋虫麻呂によって歌として詠まれています。その後、室町時代になると、当時の民衆の間で親しまれた挿絵入りの短編物語である「御伽草子」の代表的な作品の一つとして、物語の形式が整えられました。
問7	答え 1 徳政令	室町時代には貨幣経済の浸透に伴い、多くの農民が借金に苦しむようになりました。これに対し、農民たちは「惣」と呼ばれる村の組織を背景に団結し、土一揆を起こして幕府に借金の帳消し（徳政）を求めました。幕府は社会の混乱を鎮めるためにこれを受け入れ、法令を颁布しました。選択肢にある御成敗式目は鎌倉時代、武家諸法度や公事方御定書は江戸時代の法令です。
問8	答え 1 有力な農民たちが寄合を開いて村のルールを定め、灌漑用水の管理や年貢の納入を共同で行うなど、自分たちで村を運営した。	室町時代には農業技術の向上によって農民の経済力が向上し、地位が高まりました。その結果、有力な農民（地侍など）が中心となり、村の重要な決定を下す「寄合」を通じて、領主の支配に頼らずに村を維持・運営する「惣」という自治組織が生まれました。商人の組織は「座」、都市の商工業者による自治組織は「町衆」と呼ばれ、これらは惣とは異なる目的や背景で組織されたものです。
問9	答え 1 徳政令	鎌倉時代末期から室町時代にかけて、生活に困窮した農民たちが団結して起こした行動を土一揆と呼びます。農民たちは、当時の有力な自治組織であった「惣（惣村）」を基盤に連携し、借金の破棄（徳政）を認める「徳政令」の発布を幕府に強く要求しました。こうした動きは、単なる暴動ではなく、法的な権利を求める政治的な側面も持っていました。

問1 日本の歴史における文化的な出来事を説明した記述のうち、室町時代の「東山文化」の特色を正しく説明しているものはどれですか。 (2015年 大分県公立入試 類似)

1. 足利義政が慈照寺を建立し、禅宗の精神を背景とした質素で落ち着いた趣を尊ぶ文化が広まった。
2. 千利休が茶の湯を大成し、大名や豪商たちが豪華な城郭や障壁画を好む華麗な文化が発展した。
3. 井原西鶴が浮世草子を執筆し、元禄年間に上方を中心とした町人の生活を反映する文化が栄えた。
4. 足利義満が金閣を建立し、公家文化の優雅さと武家文化の力強さが融合した文化が形成された。

問2 後醍醐天皇が行った「建武の新政」は、武士たちの強い不満を買い、短期間で失敗に終わりました。その背景にある、新政の政治的な特徴として最も適切な説明を選びなさい。 (2022年 静岡公立入試 類似)

1. 恩賞の配分において貴族を重用し、武士の土地所有権を保証する審理を軽視した。
2. 全国の武士に過度な軍役を課し、モンゴル軍の再来に備えた防備を強要した。
3. 有力な守護大名の権限を強め、地方武士が天皇に直接意見を言う機会を奪った。
4. キリスト教の布教を認め、仏教を重んじてきた武士や寺社勢力と対立した。

問3 室町時代、凶作や重い負担に苦しむ近江（現在の滋賀県）などの農民たちは、生活の困窮を背景に団結し、高利貸しを襲撃するなどの行動を起こしました。こうした農民たちが、幕府に対して「借金の帳消し」を認めるよう求めて出した法令の名称として、最も適切なものを選びなさい。 (2022年 滋賀公立入試 類似)

1. 徳政令
2. 分国法
3. 御成敗式目
4. 武家諸法度

問4 室町時代の「管領」という役職の仕組みについて、その特徴を背景とともに説明したものとして正しいものはどれか。 (2020年 岩手県公立入試 類似)

1. 将軍の権力を絶対的なものにするため、特定の家系ではなく能力のある下級武士から選ばれた。
2. 鎌倉時代以来の伝統に基づき、天皇が任命する最高位の武官として軍事指揮権のみを行使した。
3. 有力な守護大名による連合政権的な性格を持ち、有力家系が交代で就任することで勢力の均衡を図った。
4. 江戸時代の幕藩体制を先取りし、地方の守護を監視するために将軍直属の密偵としての役割を担った。

問5 室町時代に組織された「座」の仕組みと、その影響について述べた文として、最も適切なものはどれですか。 (2022年 三重公立入試 類似)

1. 公家や寺社に税を納める代わりに、特定の商品の販売を独占する権利を得た。
2. 幕府が直接管理を行い、全国の主要な市場で自由な取引を推奨した。
3. 外国との貿易を独占するため、有力な大名たちが共同で出資して設立した。
4. 農村の指導者たちが集まり、年貢の徴収を請け負うために結成された。

問6 北海道上ノ国町にある勝山館跡は、1457年に起きたアイヌの人々と和人の戦いの後に、和人側の拠点として築かれました。この戦いの指導者と時代背景について述べたものとして正しいものはどれですか。 (2021年 北海道公立入試 類似)

1. コシャマインが指導者となり、室町時代に和人と戦った
2. シャクシャインが指導者となり、江戸時代に和人と戦った
3. アテルイが指導者となり、平安時代に朝廷軍と戦った
4. コシャマインが指導者となり、明治時代に開拓使と戦った

問7 室町幕府において、政治の実務を統括するために設けられた役職について説明します。この役職は、足利氏の一族である有力な守護が交代で就任し、将軍の補佐役として幕政を支えました。この役職の名称として正しいものを選びなさい。 (2020年 岩手県公立入試 類似)

1. 管領
2. 執権
3. 老中
4. 若年寄

問8 室町時代の文化の特色について、特に慈照寺（銀閣）にある「東求堂同仁斎」に代表される建築様式とその背景を説明した文として、最も適切なものを選びなさい。 (2019年 埼玉県公立入試 類似)

1. 禅宗の影響を受け、畳を敷き詰め、床の間や違棚、ふすま、障子などを設けた書院造が確立され、のちの日本家屋の原型となった。
2. 宋から伝わった大仏様という力強い建築様式が採用され、民衆の力強さを象徴する巨大な木造建築が各地に建立された。
3. 貴族の住居様式である寝殿造を簡略化し、外観に金箔を貼ることで、武士の権力と浄土への憧れを視覚的に表現した。
4. 仏教の無常観に基づき、質素な隠遁生活を好む文人の精神を反映した、壁のない開放的な庵のような建築様式が流行した。

答え合わせ・解説

問1	答え 1 足利義政が慈照寺を建立し、禅宗の精神を背景とした質素で落ち着いた趣を尊ぶ文化が広まった。	東山文化は、8代将軍・足利義政の時代に京都の東山を拠点として発達しました。この文化は、それまでの華やかな文化とは一線を画し、禅宗の考え方に基づく、静かで控えめな美しさを追求しました。慈照寺の銀閣はその象徴であり、現代の茶道、華道、庭園、そして建築様式である書院造など、日本文化の伝統的な形の多くがこの時期に形作られました。
問2	答え 1 恩賞の配分において貴族を重用し、武士の土地所有権を保証する審理を軽視した。	後醍醐天皇は、それまでの幕府が行ってきた武士の慣習を無視し、貴族を優遇する政治を行いました。特に、武士にとって最も重要な「土地の所有権（所領）」に関する裁判や恩賞の決定が、天皇の恣意的な判断や貴族中心の基準で行われたため、倒幕に協力した武士たちの間に急速に不満が広がりました。
問3	答え 1 徳政令	鎌倉時代末期から室町時代にかけて、生活に困窮した農民たちが団結して起こした行動を土一揆と呼びます。農民たちは、当時の有力な自治組織であった「惣（惣村）」を基盤に連携し、借金の破棄（徳政）を認める「徳政令」の発布を幕府に強く要求しました。こうした動きは、単なる暴動ではなく、法的な権利を求める政治的な側面も持っていました。
問4	答え 3 有力な守護大名による連合政権的な性格を持ち、有力家系が交代で就任することで勢力の均衡を図った。	室町幕府は、足利尊氏が各地の有力武士を「守護」として認めることで成立した組織であり、将軍独裁ではなく守護大名の連合体としての側面を強く持っていました。そのため、中央政治においても特定の有力守護（細川・斯波・畠山）が「管領」を交代で務めることで、有力者同士のバランスを取りながら政治を運営する仕組みが取られていました。
問5	答え 1 公家や寺社に税を納める代わりに、特定の商品の販売を独占する権利を得た。	座は、特定の有力者に税（役銭）を支払うことで、他の商人の参入を拒む「独占権」を獲得していました。この仕組みは中世の商業の安定に寄与しましたが、一方で自由な経済活動を妨げる要因にもなり、後に織田信長らによる「楽市・楽座」で廃止の対象となりました。
問6	答え 1 コシャマインが指導者となり、室町時代に和人と戦った	1457年に起きた「コシャマインの戦い」は、室町時代の出来事です。これに対し、シャクシャインの戦いは1669年（江戸時代）、アテルイの抵抗は8世紀末から9世紀初め（平安時代）の出来事であり、それぞれ時期や背景が異なります。勝山館はこの戦いの反省から、和人側の統治・防衛拠点として整備されました。
問7	答え 1 管領	室町幕府では、将軍の補佐役として「管領」が置かれました。これは鎌倉幕府において北条氏が独占した「執権」とは異なり、細川氏・斯波氏・畠山氏という3つの有力な守護の家系（三管領）が交代で務める仕組みとなっていました。守護の強大な力を幕政に取り入れることで、幕府の権力基盤を安定させる狙いがありました。
問8	答え 1 禅宗の影響を受け、畳を敷き詰め、床の間や違棚、ふすま、障子などを設けた書院造が確立され、のちの日本家屋の原型となった。	足利義政の時代に栄えた東山文化では、禅宗の影響を強く受けた簡素で奥深い美しさが尊ばれた。東求堂同仁齋に代表される書院造は、現代の和室に繋がる畳・障子・床の間といった要素を整えた様式である。他の選択肢のうち、大仏様は鎌倉時代、金箔を用いた豪華な様式（金閣など）は北山文化、無常観に基づく文学的背景は鎌倉時代の随筆などの特徴であり、東求堂同仁齋の説明としては適さない。

問1 室町時代、足利義満によって始められた中国（明）との貿易では、倭寇と呼ばれる海賊による密貿易と区別するために、ある証明書が用いられました。この貿易の名称と仕組みについて述べたものとして正しいものはどれですか。（2021年 宮城県公立入試 類似）

- 勘合（勘合符）という合札を使い、明の公認であることを証明した勘合貿易
- 朱印状という海外渡航許可証を用いた、東南アジア諸国との朱印船貿易
- 長崎に設置された唐人屋敷において、清の商人と限定的に行われた長崎貿易
- 平清盛によって大輪田泊が整備され、宋の貨幣を大量に輸入した日宋貿易

問2 室町時代の商業組織である「座」が、公家や寺社などの権力者に税を納めていた主な目的として、最も適切な説明はどれですか。（2026年 山形公立入試 類似）

- 商品の販売における独占権を得たり、関所の通行税を免除されたりするため
- 海外貿易に必要な大型船を建造するための資金提供を仰ぐため
- 幕府による徳政令から自分たちの債権を守るための軍力を借りるため
- 全国一律の新しい通貨を発行し、商取引の混乱を防ぐため

問3 鎌倉時代から室町時代にかけて、交通の要地や寺社の門前などで、月に数回、決まった日に開かれた市場を何と呼びますか。ここでは、宋銭や明銭などの貨幣が盛んに使われるようになりました。（2016年 京都公立入試 類似）

- 定期市
- 楽市・楽座
- 問丸
- 座

問4 室町時代の歴史を記した資料において、応仁の乱が発生した背景として、將軍の跡継ぎ問題とともに「ある役職」を世襲する有力な家柄同士の対立が挙げられています。將軍を補佐し、守護大名の中から選ばれたこの幕府の最高職を何といいますか。（2019年 山口公立入試 類似）

- 管領
- 内管領
- 関白
- 守護代

問5 日本の伝統的な「浦島伝説」が記されている古典作品について、奈良時代にまとめられた日本最古の和歌集と、室町時代に成立した絵入りの短編物語の組み合わせとして正しいものはどれですか。（2024年 大阪公立入試 類似）

- 万葉集と御伽草子
- 古今和歌集と浮世草子
- 新古今和歌集と御伽草子
- 万葉集と浮世草子

問6 室町時代の日明外交において、日本から明へ送られた書状や進物、および両国の関係について述べた文として適切なものはどれですか。（2019年 愛知公立入試 類似）

- 書状には足利義満による挨拶が記され、進物として金、馬、刀剣などが贈られたほか、漂流者の送還を通じて友好関係が築かれた。
- 書状にはキリスト教の布教許可が記され、進物として生糸や綿織物が贈られる代わりに、日本からは銀が大量に輸出された。
- 書状には清の皇帝への臣従が記され、鎖国体制下における唯一の例外として、長崎での定期的な貿易が約束された。
- 書状には元寇に対する賠償請求が記され、武力を背景とした威圧的な外交によって、明から大量の銅銭を獲得した。

問7 1428年（正長元年）に発生した大規模な社会運動において、農民たちが掲げた「徳政」という要求の具体的な内容を説明したものとして、最も適切なものはどれですか。（2016年 富山県公立入試 類似）

- 借金の証文を破棄し、質入れしていた土地や品物を無償で取り戻すこと
- 大名が幕府の許可なく城の修理を行うことを厳しく制限すること
- 農民が武器を持つことを禁じ、耕作に専念させること
- 関所を廃止して、商人たちが自由に通行できるようにすること

問8 1467年に始まり、京都を主な戦場として約11年間にわたって続いた戦乱によって、京都の市街地は大きな被害を受けました。この戦乱の名称と、その後、京都の復興を担い祇園祭などの伝統的な祭礼を再興した、自治意識の強い商工業者の組み合わせとして正しいものを選びなさい。（2023年 鹿児島県公立入試 類似）

- 応仁の乱・町衆
- 応仁の乱・惣
- 壬申の乱・町衆
- 壬申の乱・惣

問9 室町時代、商工業者が公家や寺社などの権力者に税を納める代わりに、商品の販売や製造の独占権を認められていた同業者組合を何と呼びますか。（2020年 徳島公立入試 類似）

- 座
- 株仲間
- 町衆
- 問

答え合わせ・解説

問1	答え 1 勘合（勘合符）という合札を使い、明の公認であることを証明した勘合貿易	室町時代の対外貿易において、当時の中国である明は倭寇を防ぐために正式な貿易船のみを認める方針をとりました。日本側は「勘合」と呼ばれる合札を持参し、明の役人が保管する札と照合させることで、海賊ではない正式な使節であることを証明しました。これにより、安全かつ確実な貿易が行われるようになりました。
問2	答え 1 商品の販売における独占権を得たり、関所の通行税を免除されたりするため	座を構成する商人や手工業者は、当時の有力者である公家や寺社を「本所（ほんじょ）」と仰ぎ、金銭を納めることで、特定の地域や市場での営業独占権や通行の自由を保障されました。こうした特権的な独占状態は、のちに織田信長らが「楽市・楽座」の政策によって解体を目指す対象となりました。
問3	答え 1 定期市	鎌倉時代には月に3回開かれる三斎市、室町時代には月に6回開かれる六斎市といった市場が各地で開かれました。これらは特定の日に開催されるため、まとめて定期市と呼ばれます。当時は日本で独自の貨幣が製造されておらず、中国から輸入された貨幣がこうした市場を通じて全国的な流通を支えました。
問4	答え 1 管領	応仁の乱は、將軍足利義政の跡継ぎ争いに加え、幕府の最高職である管領を世襲する畠山氏や斯波氏の家督争いが複雑に絡み合って発生しました。有力な守護大名が幕府の要職を占めていたため、家内の争いがそのまま幕府全体の政治抗争へと発展し、11年に及ぶ戦乱を招く原因となりました。
問5	答え 1 万葉集と御伽草子	浦島伝説は、奈良時代に編纂されたわが国現存最古の歌集である「万葉集」において、高橋虫麻呂によって歌として詠まれています。その後、室町時代になると、当時の民衆の間で親しまれた挿絵入りの短編物語である「御伽草子」の代表的な作品の一つとして、物語の形式が整えられました。
問6	答え 1 書状には足利義満による挨拶が記され、進物として金、馬、刀剣などが贈られたほか、漂流者の送還を通じて友好関係が築かれた。	日明貿易では、日本側からは金、馬、刀剣、扇などの特産品が献上品（進物）として贈られ、明側からはお返しとして大量の銅銭（明銭）や生糸、書画などが与えられました。また、海難事故による漂流者の送還といった人道的・外交的な対応も、国家間の信頼関係を維持する重要な要素となっていました。
問7	答え 1 借金の証文を破棄し、質入れしていた土地や品物を無償で取り戻すこと	正長の土一揆では、近江（滋賀県）の馬借や農民が中心となり、「徳政」を合言葉に酒屋や土倉といった高利貸しを襲撃しました。彼らの目的は、自分たちの借金が記された証文を破棄させ、担保としていた土地などの所有権を強引に回復させることにありました。これは室町幕府の権威を揺るがす大きな社会問題となりました。
問8	答え 1 応仁の乱・町衆	1467年に発生した応仁の乱は、將軍の継嗣問題や守護大名の対立などが原因で始まり、京都の大部分を焼失させました。この戦乱ののち、京都の有力な商工業者たちは「町衆」と呼ばれる集団を形成し、自治組織を作って町の警備や道路の整備、さらに祇園祭などの文化活動を支え、復興に尽力しました。「惣（惣村）」は主に農村部で作られた自治組織を指すため、都市部の町衆とは区別が必要です。
問9	答え 1 座	平安時代から室町時代にかけて、商人や手工業者は「座」を結成しました。彼らは「本所」と呼ばれる貴族や大寺社に奉仕や税を捧げることで、関所の通行税免除や商品の独占販売権などの特権を得ていました。この仕組みは、後に織田信長が「楽市・楽座」によって特権を廃止し、自由な貿易を促すまで続けました。選択肢の「株仲間」は江戸時代に幕府の公認を得て活動した組織です。

問1 室町時代に足利義満が行った日明貿易において、正式な貿易船と倭寇（海賊）を区別するためにとられた方法はどれですか。

（2024年 鳥取公立入試 類似）

1. 勘合（勘合符）という合い札を持参させた
2. 甲骨文字を刻んだ亀の甲羅を証明書とした
3. 遣隋使の際と同じ形式の国書を必ず持参させた
4. 南京条約に基づき、特定の開港場でのみ取引を行った

問2 中世の日本において、商人や手工業者が公家や寺社などの権力者に税を納める代わりに、営業の独占権や保護を受けるために結成した同業者団体を何とといいますか。 （2021年 岐阜公立入試 類似）

1. 座
2. 株仲間
3. 惣
4. 間屋

問3 室町時代に中国の明へ渡って本格的な絵画技法を学び、墨一色の濃淡によって自然や風景を表現する画風を日本において大成させた画僧は誰ですか。 （2015年 大分県公立入試 類似）

1. 雪舟
2. 狩野永徳
3. 菱川師宣
4. 葛飾北斎

問4 1428年に近江（滋賀県）から始まり、京都や奈良など広範囲に広がった「正長の徳政一揆」に関する説明として、当時の社会状況を正しく述べているものはどれですか。 （2020年 静岡公立入試 類似）

1. 幕府が公式に徳政令を出さなかったため、人々は土倉などを襲って自ら借金証文を破棄した
2. 織田信長が楽市・楽座を導入したことに反対した商人が、寺院と協力して起こした
3. 元寇による軍役の負担に耐えきれなくなった御家人たちが、借金の免除を求めて蜂起した
4. キリスト教徒が団結し、重い年貢を課す領主に対して武器を持って反抗した

問5 「二条河原の落書」には、当時の京都で「繪旨（りんじ）」が乱発され、社会が混乱している様子が記されています。この「繪旨」とはどのようなものですか。その性質として正しい説明を選びなさい。 （2021年 和歌山公立入試 類似）

1. 後醍醐天皇が自らの意向を直接伝えるために出した命令書
2. 鎌倉幕府の執権が武士の土地裁判のために定めた法律
3. 室町幕府が借金を帳消しにするために出した法令
4. 平氏が貴族の反乱を抑えるために出した軍事的な指令

問6 室町時代の社会において、物資の流通や経済活動に従事した人々の説明として、当時の「馬借」の活動を正しく説明しているものはどれですか。 （2018年 千葉県公立入試 類似）

1. 町町や川港に居住し、船を利用した水上輸送や商品の保管を行った
2. 馬を利用して陸上の物資輸送を担い、時には徳政一揆の中心勢力にもなった
3. 幕府や公家に税を納める代わりに、商品の販売や製造の独占権を得た
4. 都市部で質屋を営み、武士や民衆を対象に高利で金銭を貸し付けた

問7 室町幕府の三代将軍である足利義満が行った対外政策と、その貿易の背景について述べた文として、最も適切なものを選択してください。 （2017年 愛知公立入試 類似）

1. 幕府の財政を潤すため、明の皇帝に従う形式をとって倭寇を鎮圧することを約束し、貿易を行った。
2. 元との戦いによる恩賞問題に対応するため、博多の石垣を拠点に大陸との活発な民間貿易を推奨した。
3. 鎖国体制を維持しながらも、出島におけるオランダや清との貿易を幕府の直轄とした。
4. 南蛮文化を取り入れるため、キリスト教の布教を認める代わりに明から大量の銀を輸入した。

問8 室町時代に惣村が発達し、農民たちが強い団結力を持つようになった背景として、当時の村の運営実態について述べた文として最も適切なものはどれですか。 （2017年 岡山公立入試 類似）

1. 灌漑水の管理や入会地の利用を共同で行う必要があり、農民同士が連帯して領主と交渉した。
2. 江戸幕府の五人組制度によって、農民が相互に監視し合いながら年貢を納める仕組みが作られた。
3. 武士が土地を直接支配する地頭請が普及したため、農民は武士の指示に従ってのみ村を運営した。
4. 商業の独占権を持つ「座」が村を統治し、農民は商人たちの許可を得て農業を行った。

問9 15世紀に尚氏が統一し、アジア諸国との交易で繁栄した琉球王国のその後の動向について、17世紀初頭に起きた出来事の説明として正しいものはどれですか。 （2020年 高知公立入試 類似）

1. 島津氏が率いる薩摩藩の侵攻を受け、その支配下に入れられた。
2. 宗氏が率いる対馬藩の侵攻を受け、日本との独占的な貿易窓口となった。
3. 豊臣秀吉の軍勢による攻撃を受け、首里城が落城して完全に滅亡した。
4. 江戸幕府の鎖国政策により、すべての海外貿易を禁止された。

答え合わせ・解説

問1	答え 1 勘合（勘合符）という合い札を持参させた	足利義満は明の皇帝から「日本国王」として認められ、朝貢の形式で貿易を行いました。この際、当時沿岸部で活動していた倭寇による密貿易を防ぐため、明から交付された「勘合」と呼ばれる札を照らし合わせて、正当な貿易船であることを確認する仕組みが導入されました。
問2	答え 1 座	平安時代から室町時代にかけて発達した、商工業者の組織についてです。特定の公家や寺社（本所）と結びつくことで、市場での独占販売権や、交通の要所に設置された関所の通行税免除といった特権を得ていました。江戸時代に幕府から営業の独占を認められた「株仲間」とは、時代背景や保護者が異なる点に注意が必要です。
問3	答え 1 雪舟	室町時代の東山文化を代表する人物です。遣明船を利用して明に渡り、大陸の高度な技法を習得しました。帰国後はそれまでの日本の伝統的な画風に中国の様式を融合させ、日本独自の水墨画の様式を確立しました。選択肢にある狩野永徳は桃山時代の障壁画、菱川師宣や葛飾北斎は江戸時代の浮世絵で知られる人物です。
問4	答え 1 幕府が公式に徳政令を出さなかったため、人々は土倉などを襲って自ら借金証文を破棄した	正長の徳政一揆では、代がわりの徳政（将軍が交代する際の債務免除）などを期待した民衆が、幕府がなかなか徳政令を出さないことにしびれを切らし、自分たちで土倉や酒屋、寺院を襲撃しました。当時の奈良の大乗院日記などの記録には、一揆の勢いが凄まじく、日本が始まって以来の出来事であるといった記述が残されています。結果として、幕府は公式な徳政令を出せませんでした。人々は実力で借金を帳消しにしました。
問5	答え 1 後醍醐天皇が自らの意向を直接伝えるために出した命令書	建武の新政において、後醍醐天皇はそれまでの先例や慣習を否定し、すべての物事を天皇の直接の意志である「綸旨」によって決定しようとしていました。しかし、土地の所有権などをめぐって内容の矛盾する綸旨が次々と出されたことが、武士たちの大きな混乱と反感を買う原因となりました。
問6	答え 2 馬を利用して陸上の物資輸送を担い、時には徳政一揆の中心勢力にもなった	馬借は交通の要所に集まって組織化されていたため、強い団結力を持っていました。そのため、凶作や借金に苦しむ農民たちが徳政（借金の帳消し）を求めて起こした「土一揆（徳政一揆）」の際には、その輸送網や組織力を活かして一揆の先導役や中心勢力として活動しました。他の選択肢は、それぞれ「問（問丸）」「座」「土倉」に関する説明です。
問7	答え 1 幕府の財政を潤すため、明の皇帝に従う形式をとって倭寇を鎮圧することを約束し、貿易を行った。	足利義満は、明の皇帝から「日本国王」の称号を受ける（朝貢形式）ことで、正式な国交を樹立しました。明側は自国の沿岸を脅かす倭寇の取り締まりを日本側に求めており、義満はこれに応じる形で多大な利益を生む貿易を独占し、幕府の財政基盤を強化しました。この貿易は、明が「元」を倒した後の時代に行われたものであり、石垣による防衛戦（元寇）とは時代背景が異なります。
問8	答え 1 灌漑用水の管理や入会地の利用を共同で行う必要があり、農民同士が連帯して領主と交渉した。	惣村が発達した大きな要因は、農業生産を維持するために不可欠な「水（灌漑用水）」や、肥料・燃料を得るための山林（入会地）の管理を共同で行う必要があったことです。この共同作業を通じて農民の結束が強まり、個々の農民では太刀打ちできない領主に対しても、村全体として年貢の減免を求めたり、村請（年貢の納入を村全体で請け負うこと）を行ったりする自治能力が備わっていました。
問9	答え 1 島津氏が率いる薩摩藩の侵攻を受け、その支配下に入れられた。	琉球王国は、1609年に九州の薩摩藩（島津氏）による軍事侵攻を受けました。これ以降、琉球は中国（明や後の清）との朝貢関係を継続して王国としての体裁を保ちつつも、実質的には薩摩藩と江戸幕府の支配下に組み込まれるという、複雑な二重の外交・支配体制を経験することになります。対馬藩は主に朝鮮との外交を担っていたため、琉球とは関係が異なります。